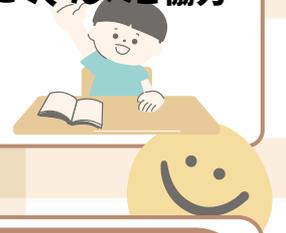


# 音楽室だより 6年生冬休み号

2024年12月25日発行

行事の多い後期でしたわ。6年生は最高学年として、学校全体への役割を担いつつ、一つ一つを丁寧に実り多きものとして成功させてくれました。新しい課題に前向きに進んでいる姿が頼もしかったです。ご家庭での温かいお言葉が励みになったことを聞いています。保護者の皆様にはたくさんのご協力を賜り感謝申し上げます。

後期に学習した主な内容を書いています。ぜひ、お子様とご覧になってください。



## いろいろな音のひびきを味わおう

ブラームス作曲『ハンガリー舞曲第5番』の鑑賞の学習では、友達をペアになって手合わせをしながら『速度の変化』を感じ取りました。『トントンパー』とリズムにのって順調にお手合わせしていたら、急に音楽の速度が変わってしまい、手合わせが難しくなります。そこが感じ取るチャンス！この気付きを生かして、音楽の変化を考えてみました。

## 冬休みの宿題：リコーダー掃除

リコーダーの学習も頑張りましたので、冬休み中に表面と筒の中をよく洗ってください。中性洗剤を使って洗っても構いません。洗ったあとはよく乾かし、グリスを塗ります。ガーゼも洗うか新しいものに交換してみてください。



## 詩と音楽とのかがわりを味わおう

言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、滝廉太郎の作品を中心に日本の歌を味わいました。また、『ふるさと』『われは海の子』も学習し、古くから歌い継がれて、人々が大切にしている曲の魅力を学習しました。



## 日本や世界の音楽に親しもう

日本の歌は明治時代の作品でしたが、そこから平安時代にさかのぼりました。1200年前から形を変えずに伝わっている雅楽について学習をしました。お正月に聴く機会もあるかもしれませんがね。

